

掛札が、「コロナ後」も集合研修会にうかがわず、リモートを続ける理由

1. 100%リモートにした結果、従来の移動時間等をウェブサイトと Facebook に使えるようになりました。集合研修を再開すると、これが不可能になります。
2. 深刻事故発生後や災害発生時など、「今この時」にこそ必要な情報は、ウェブサイトと Facebook を通じて即時に全国へ発信でき、必要な方に使っていただけます。半年後や1年後の集合研修会でわざわざ説明する必要がありません。季節ごとの話題も同様。
3. 2の理由により、「安全に関する一般的な内容の研修会」をする必要がなくなりました。必要な方はサイトと Facebook の動画をご覧になりますから。そして、必要だと思わない方、または私がお伝えする「安全」「価値」「リスク」の話を耳障りだと思える方は聞かなくてすむのです（そういった方が「しぶしぶ」研修会に来て意味のない議論をふっかけておいでになることによる、私のストレスもなくなる）。
4. 各園からリモート受講していただくことで、人数制限がなくなりました。出勤しない日も自宅から聞けます（別のことをしながら耳だけでも）。集合研修では園から1人、よくても数名だけが参加するため、いわゆる「伝達研修」で結局、内容が伝わらない、それどころか間違った内容が伝わったこともあり、「安全」という園内の情報共有、知識共有が不可欠なテーマにおいては非常に問題でした。それがリモートで解消しました。共有したい内容は、何人でもお聞きいただけます。
5. リモートであれば、園や法人の具体的な課題に取り組む皆さんを、距離にとらわれることなく、園内研修や法人研修で直接お手伝いできます（すでに複数、実施中）。
6. リモートももちろん化石エネルギー（≒石油）を消費するものの、集合よりも圧倒的に少なくなります（実際の学会をリモートと集合で比較した試算によると、リモートのほうが60分の1以下の化石エネルギー消費量）。私の移動だけでなく、先生方が会場に移動するエネルギー消費も削減できます。もちろん、先生方の時間も節約でき、先生方が慣れない場所を車で移動することによる交通事故のリスクも下げられます。
7. 「元気に檀上で話している姿を見たい」とおっしゃる皆さまへ。ごめんなさい。それはもうできなくなりました。理由を説明します。

40歳頃、ホルモン依存性のひどい偏頭痛に悩まされ始めたため、大学附属のクリニックで治療用超低用量ピルを処方してもらい、大学院を過ごしていました。同様の治療用ピルは日本の場合、入手できないのですが、帰国後もそこはなんとか低用量ピルと偏頭

痛治療薬で制御を続け、血圧が上がり始めてピルを使えなくなってからはホルモン補充療法（HRT）用のパッチを使っています。とはいえ、いつまでもエストロゲンを補充し続けるわけにはいきませんから、57歳ごろには執筆以外のすべての仕事をやめてHRTも漸減していく予定でした。

ところが、コロナが起きたため、「減らし始めるなら今だ！ リモートがあれば研修会も続けられる！」と2020年夏から補充量を減らし始めました。結果、体調は低下の一途です。自然であれば10～15年かかる更年期を10年遅れぐらいで、それも期間を短縮しているのですから当然です。ホルモン量が（自然の更年期のように）上下動することはないので、「更年期障害」と言われる症状は出ませんが、体調は低下し続けています。

今の私に、数時間、電車や飛行機に乗って、その後、数時間の研修会をする体力はありません。「そんなふうには見えない」…、ならばそれは、移動時間のないリモートのおかげです。50代前半に動き回れたのは、HRTのおかげでした。「じゃあ、HRTを続けられればいいのに」…。60歳近くになって、または60歳以降にHRTを続けることはまったく推奨されません。心血管疾患（心筋梗塞、脳溢血等）の発症リスクを大幅に上げ、発がんリスクも上げるからです。毎年、元職場で人間ドックは受けていますし、体力を維持するため、エクササイズを含め努力はしていますが…。集合研修を再開すれば、体力維持の努力も難しくなります。

結果、もし集合の研修会等に行ったとしても、私はおとなしく座ってお話することになります。ならば、ZoomやFacebookでご覧の通りの百面相を画面越しに見たほうが、皆さんも楽しいと思いますが…。

8. 家族の介護が迫っているため、半年後、1年後の予定を入れることはできません。リモートになってから、研修依頼自体がほぼすべて2～3か月前になりました。リモートなら、主催者の皆さんも会場の予約をしなくてすむからです。

リモート講師料は定額なので私の収入は確かに減りますが、移動コスト（移動時間もコストのうち）はゼロですので、そこは相殺です。中途半端にリモートと集合の両方をしようとすると、移動コストが上がり、情報発信ボランティアの時間がなくなります。

「うちの自治体は都内だから」「関東だから」…、保育の他の分野は違うとわかっていますが、「安全」においては特に上記4の理由が大きいので「近くだから集合研修に行く」とは申し上げられません。遠近にかかわらず「絶対に集合でなければならぬ理由」が必要です。2020年、リモート開始当初にお世話になったいくつかの園や自治体の皆さんは別ですが、それは研修会ではなく、遊びに行きます。以上です。